



電話機の機能設定

- [スピードダイヤル番号の作成 \(1 ページ\)](#)
- [ボイスメール通知の設定 \(3 ページ\)](#)
- [エクステンション モビリティの最長ログイン時間の設定 \(4 ページ\)](#)
- [通話履歴の表示 \(4 ページ\)](#)
- [電話機の連絡先リストへのユーザの追加 \(5 ページ\)](#)
- [通話転送 \(6 ページ\)](#)
- [任意の電話機での仕事の電話への対応 \(8 ページ\)](#)
- [仕事の通話の個人の電話への転送 \(9 ページ\)](#)

スピードダイヤル番号の作成

スピードダイヤルを作成すると、頻繁に電話をかけるユーザに対して、ボタンを押すだけで連絡することができます。最大 199 個のスピードダイヤル番号を設定することができます。Cisco IP 電話で設定されたスピードダイヤル番号は、セルフケア ポータルには表示されません。

手順

- ステップ 1** **Unified Communications** セルフケア ポータルで、**電話機 > 電話機の設定 > スピードダイヤル番号**を選択します。
- ステップ 2** 設定する電話機を選択して、**新しいスピードダイヤルの追加**をクリックします。
- ステップ 3** 番号またはURI、ラベル（説明）、スピードダイヤルなど、必要な詳細フィールドを入力して、**OK**をクリックします。

394072

スピードダイヤルでの一時停止の設定

スピードダイヤルでは、一時停止を設定することができます。これにより、手動認証なしで、強制承認コード（FAC）、クライアント識別コード（CMC）、ダイヤル中の一時停止、あるいは追加の数字（ユーザの内線番号、ミーティングのアクセス番号、ボイスメールのパスワードなど）を必要とする接続先にダイヤルすることができます。スピードダイヤルを押すと、電話機が通話を確立し、ダイヤルを一時停止して他の数字が接続先に送信されます。

スピードダイヤルに一時停止を含めるには、スピードダイヤル文字列で、コンマ（,）を指定します。各コンマは、2秒間の一時停止を示します。

たとえば、強制承認コード（FAC）やクライアント識別コード（CMC）などのコードを含み、その後、IVRプロンプトに続くスピードダイヤルを設定するという場合を説明します。

- 着信番号は 91886543 です。
- FAC コードは 8787 です。
- CMC コードは 5656 です。
- IVR の応答は 987989# です。通話が接続されてから 4 秒後にこの応答を入力しなければなりません。

この場合、短縮ダイヤルとして **91886543,8787,5656,987989 #** をプログラムします。

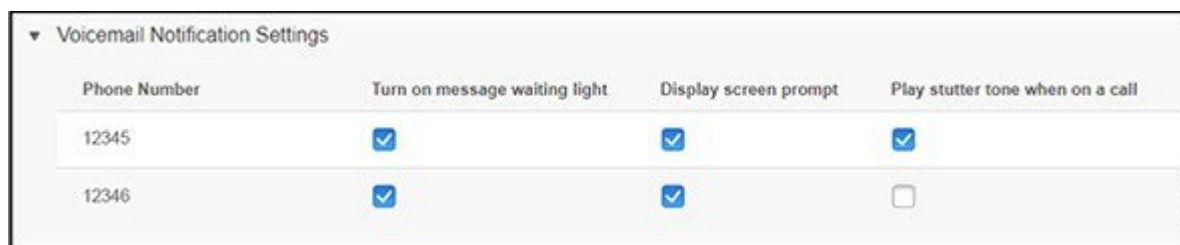
ボイスメール通知の設定

ユーザの電話機にメッセージが残されると、通知を受けます。通知には、受信ランプ、画面上的プロンプト、スタッター音のオプションがあります。受け取るメッセージに対して同じまたは異なる通知オプションを設定することができます。

手順

ステップ1 Unified Communications セルフケア ポータルで、電話機 > 電話機の設定 > ボイスメール通知設定を選択します。

ステップ2 電話番号を選択して、通知オプションのいずれかのチェックボックスをオンにして、有効にします。



The screenshot shows a table titled "Voicemail Notification Settings" with the following columns: Phone Number, Turn on message waiting light, Display screen prompt, and Play stutter tone when on a call. There are two rows of data.

| Phone Number | Turn on message waiting light | Display screen prompt | Play stutter tone when on a call |
|--------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 12345 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 12346 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

- メッセージ受信ランプの点灯：ボイスメールメッセージを受信すると、電話の画面のメッセージアイコン ボタンの近くで赤色のランプが点滅します。
- 表示画面のプロンプト：ボイスメールメッセージを受信すると、電話画面にボイスメールのアイコンが表示されます。
- 通話中にスタッター音を鳴らす：受話器を取り上げた時、あるいは通話中に、ダイヤルトーンが聞こえます。ボイスメール メッセージがあることがダイヤルトーンで示されます。

ステップ3 保存をクリックします。

ボイスメールの設定

ボイスメールを設定するデバイスや使用する言語など、ボイスメールの設定は変更することができます。

手順

ステップ1 Unified Communications セルフケア ポータルで、ボイスメールを選択します。

ステップ2 ボイスメール設定 IVR にダイヤルをクリックします。

Cisco WebDialer がボイスメール初期設定 IVR にダイヤルし、そこで電話のボイスメール初期設定を実行できます。

エクステンションモビリティの最長ログイン時間の設定

Cisco Extension Mobility を使用すると、簡単なログインプロセスで、さまざまな Cisco IP 電話を自分の電話機のように使用したり、設定やスピードダイヤルのパーソナライズが可能です。このログインプロセスの時間制限は設定可能です。

手順

ステップ 1 Unified Communications セルフケア ポータルで、一般設定 > Extension Mobility を選択します。

- デフォルトの最大ログイン時間制限を維持したい場合は、システムのデフォルト最大ログイン時間を使用する のオプション ボタンをクリックしてオンにします。
- 最大ログイン時間制限を設定したくない場合は、最大ログイン時間なし のオプション ボタンをオンにします。
- ログイン時間制限をカスタマイズしたい場合は、自動的にログアウトする のオプション ボタンをオンにして、それぞれのフィールドに時間と分を入力します。

ステップ 2 保存をクリックします。

通話履歴の表示

最近の着信コールをすべて不在にした場合は、コール履歴に移動して表示することができます。

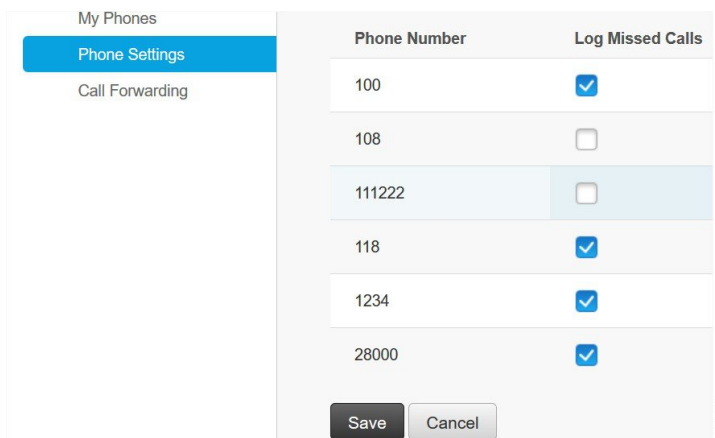


(注) デフォルトでは、不在着信はすべて通話履歴に保存されます。不在着信履歴を保存しない場合は、不在着信のログを取る チェック ボックスをオフにします。

手順

ステップ 1 Unified Communications セルフケア ポータルで、電話機 > 電話機の設定 > 通話履歴 を選択します。

ステップ 2 自分の電話番号を選択して、不在着信のログを取る チェック ボックスをオンにします。



ステップ3 保存をクリックします。

電話機の連絡先リストへのユーザの追加

同僚の電話番号と電子メールアドレスを連絡先リストに保存することができます。毎回番号を入力しなくても、電話機で同僚の番号を参照または検索して、直接電話をかけることができます。





(注) 連絡先リストは、各電話機に固有のものです。連絡先リストを他の電話機と共有することはできません。

手順

ステップ1 **Unified Communications セルフケア** ポータルで、**電話機 > 電話機の設定 > 電話機の連絡先** を選択します。

ステップ2 [新規連絡先の作成]をクリックします。

ステップ3 **連絡先情報** と **連絡方法** の必須フィールドの詳細を入力して、**保存** をクリックします。

(注) 連絡先の名前を変更するには、**変更アイコン**  をクリックします。連絡先を電話機の一覧から削除するには、**削除アイコン**  をクリックします。

通話転送

電話機やデスクから離れる際に、Cisco IP 電話から別の電話機またはボイスメールアカウントに通話を転送することができます。

不在転送（CFA）では、電話ユーザが1つの電話番号にすべてのコールを転送できます。CFAは内線コールと外線コールに設定できます。また、コーリングサーチスペース（CSS）を設定することによって、ボイスメールシステムまたはダイヤルした接続先番号にコールを転送できます。には、CFA用の2番目のコーリングスペース設定フィールドが含まれます。CFAのセカンダリCSSと、CFAの既存のCSSとの組み合わせにより、代替CSSシステム設定がサポートされます。CFAをアクティブにすると、CFA接続先の検証およびCFA接続先へのコールのリダイレクトには、CFAのプライマリCSSとセカンダリCSSだけが使用されます。これらのフィールドが空白の場合、ヌルCSSが使用されます。CFAのプライマリCSSで設定されているCSSフィールドと、CFAのセカンダリCSSのフィールドだけが使用されます。電話からCFAをアクティブにすると、CFAのCSSとCFAのセカンダリCSSを使用してCFA接続先が検証され、このCFA接続先がデータベースに書き込まれます。CFAがアクティブな場合、CFA接続先は常に、CFAのCSSおよびCFAのセカンダリCSSに対して検証されます。

CFAループが識別されると、電話でのCFAのアクティブ化を防止します。たとえば、電話番号が1000の電話でユーザが[不在（CFwdALL）]ソフトキーを押し、CFA接続先として1001を入力し、1001がすべてのコールを電話番号1002に転送し、1002がすべてのコールを電話番号1003に転送し、1003がすべてのコールを1000に転送する場合、はコール転送ループを検出します。この状況では、はループが発生していることを識別して、電話番号1000の電話でのCFAのアクティブ化を防止します。



ヒント

同一電話番号が異なるパーティションに存在している場合、たとえばパーティション1と2に電話番号1000が存在している場合、はその電話でのCFAのアクティブ化を許します。

CFAループは呼処理には影響しません。これは、はCFAループブレイクアウトをサポートしており、これによりCFAループが特定されると、転送チェーンの電話番号の1つでCFNA、CFBなどの転送オプションがCFAとともに設定されている場合でも、コールが転送チェーン全体を通過し、不在転送ループを抜けて、ループが予期されているとおりに完了することが保証されるためです。

たとえば、電話番号1000の電話のユーザがすべてのコールを電話番号1001に転送し、1001がすべてのコールを電話番号1002に転送し、1002がすべてのコールを電話番号1000に転送すると、CFAループが発生します。さらに、電話番号1002では電話番号1004へのCFNAが設定されているとします。電話番号1003の電話機のユーザは、電話番号1000をコールします。これは1001に転送され、1002に転送されます。はCFAループを識別し、そのコールがループから切断され、電話番号1002への接続を試みます。電話番号1002の電話のユーザがコールに応答する前に[無応答時の呼び出し時間（No Answer Ring Duration）]タイマーが期限切れになると、はコールを電話番号1004に転送します。

1つのコールについてが複数のCFAループを識別することがあります。この場合、各ループが識別されるたびに、コールの接続が試みられます。



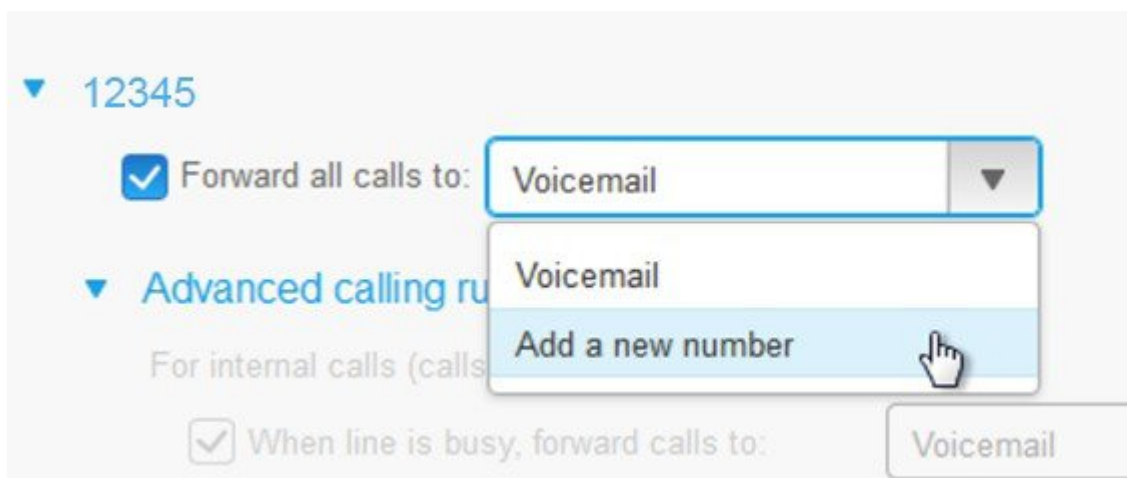
(注) セルフ ケア ポータルでは、CSS が回線 Web ページからこの番号に到達するように設定済みで、「forwarded to ###」が常に表示されない限り、セルフ ケア ポータルでは動作しません。

手順

ステップ 1 Unified Communications セルフケア ポータルで、電話機 > 通話転送 を選択します。

ステップ 2 自分の電話番号を選択して、以下の操作を実行します。

- 通話をボイスメールアカウントに転送するには、すべての通話の転送先：チェック ボックスをオンにして、ドロップダウンリストからボイスメール を選択します。



- 別の電話番号にコールを転送するには、[すべてのコールを次の番号に転送する]チェックボックスをオンにし、ドロップダウンリストから新しい番号を追加を選択して、テキストボックスに電話番号を入力します。

ステップ 3 内部コールまたは外部コールを転送するには、コール ルールの詳細 をクリックして、ドロップダウンリストからボイスメール あるいは 番号を追加する のどちらかを選択して、保存 をクリックします。

(注) 通話転送設定を削除または外すには、次の手順を実行します。


- [すべての通話を転送] を削除するには、[すべての通話を転送] のチェックボックスをオフにして [保存] をクリックします。
- 詳細な通話転送設定を削除するには、[通話転送の詳細設定] 領域を展開して、削除する設定のチェックボックスをオフにし、[保存] をクリックします。

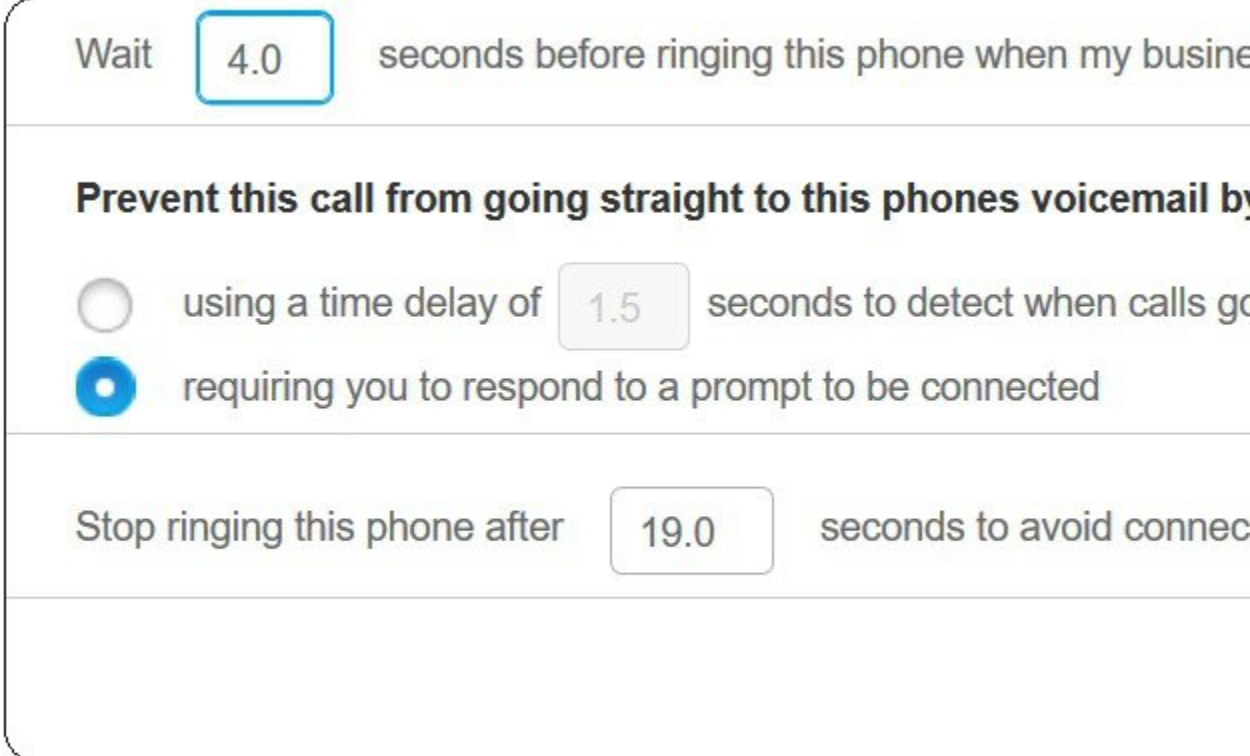
任意の電話機での仕事の電話への対応

個人の携帯電話またはホームオフィスの電話機で仕事の通話に応答することができます。上記の電話機は、セルフケアポータルで追加の電話機として追加することができます。会社の電話機に着信があると、追加した電話機でも着信音が鳴ります。

また、電話機で着信を受けたい時間帯を指定することもできます。

手順

- ステップ1 **Unified Communications** セルフケアポータルで、**電話機 > 使用する電話機**を選択します。
- ステップ2 新規追加  アイコンをクリックします。
- ステップ3 電話番号と説明を該当フィールドに入力します。
- ステップ4 **[シングルナンバーリーチを有効にする]**チェックボックスと**[モバイルへの移動を有効にする]**チェックボックスをオンにします。
- ステップ5 **[詳細通話タイミング]**をクリックして、通話転送の時間間隔を設定する場合は、任意のオプションを選択します。



Wait seconds before ringing this phone when my business line is busy

Prevent this call from going straight to this phones voicemail by

using a time delay of seconds to detect when calls go to voicemail

requiring you to respond to a prompt to be connected

Stop ringing this phone after seconds to avoid connecting to voicemail

- ビジネス回線がダイヤルされたら、この電話機を呼び出す前に待機 () 秒待ちます。新しい番号で連絡を取る前に、デスクフォンの呼出時間を設定できます。


- 通話がこの電話のボイスメールに直接転送されないようにする
 - () 秒の時間遅延を使用して通話声がボイスメールに直接送信されるのを検出します。電話が電話機のボイスメールに到達するまでの時間間隔を設定できます。
 - 接続中のプロンプトに対する応答が求められます。通話が保留され、電話機のボイスメールに送信するのではなく、その通話に応答するための数字を入力するように求めるプロンプトが表示されます。
- この電話機のボイスメールへ接続しないよう、() 秒後にこの電話機の呼び出しを停止します。電話のボイスメールに移動しないよう、電話機の呼び出しを止めるまでの呼び出し音の時間間隔を設定できます。

ステップ6 保存をクリックします。

仕事の通話の個人の電話への転送

携帯電話を使用して、デスクの電話番号にかかってきたコールを処理することができます。こういった携帯電話は、セルフケアポータルに追加の電話機として追加されています。この機能を使用すると、デスクから離れているときでも社用通話に対応することができます。

手順

- ステップ1 **Unified Communications** セルフケアポータルで、**電話機 > 使用する電話機**を選択します。
- ステップ2 追加した電話機名にカーソルを合わせて、設定  アイコンをクリックし、**編集**を選択します。
- ステップ3 追加の電話の**編集**ダイアログボックスで、**携帯電話への移動を有効にする**チェックボックスをオンにして、**保存**をクリックします。

